

図書館だより



京都市立九条中学校

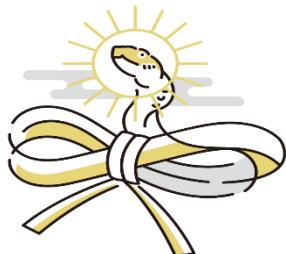
図書館

令和6年度 1月号



よき1年にしたいですね

お雑煮をいただいて、初詣。おみくじのことばに気が引き締まります。年始の授業では、琴の演奏や百人一首のかかるた取り…。ありふれているかもしれません、そんな新年のあれこれがとてもありがたく感じられます。そこで、毎月設けている図書館内のコーナー



は【再発見『和』の暮らし】にしてみました。さまざまなジャンルの本を並べてあります。昼休みに気軽に読めるものばかりですよ。今年の干支である「巳(へび)」に関わりのある本も数多く図書館にあります。さがしてみてください。



Level up week 朝読書に取り組めていますか？

*落ち着いた気持ちで授業にのぞめます

*活字に親しむ機会になります

*語彙力が学びを助けます

*自分の世界が広がります

【朝読書のススメ】として4月号でこの4つをお伝えしていました。継続できているでしょうか？新しい年に、新しい本との出会いがあるといいですね。図書館からも朝読書におすすめの本を以下に紹介しておきます。

■ 森下愛子著「日日是好日」

■ 志村ふくみ著「色を奏でる」

■ 小池昌代著「ときめき百人一首」

■ 萩野文子著「100分de名著 徒然草」

どの作品も細かく章立てされているので、短時間でまとまった内容を読み切ることができます。



授業でふれたことのある筆者や本も含んでおり、読みやすいと思います。(ちなみに、志村ふくみさんは染織家として名高く稀有な方です。作品展で実物を鑑賞した後に読むと格別です！)



『学級文庫』と『たちよみ文庫』について

●学級文庫の紛失が1学期に比べて減りました。全校で1冊のみです！慣れてくるとルーズになりがちなのですが、改善できたところがすばらしいです。また、教養委員さんの動きもスムーズでとても協力的です。「あけましておめでとうございます！」と気持ちの良いあいさつをして図書館に学級文庫を取りに来てくれました。

●たちよみ文庫は新しい本を中心に選び、隨時入れ替えていますが、本の紛失が一度もありませんでした！当たり前のこととは言え、これからもこの状態が続くように願っています。

たちよみ文庫を設置した翌日に見に行ってみると、手に取ってくれていたのが「文系？理系？に迷ったら読む本」でした。2年生の教室近くの廊下にある本です。より多くの人が気軽に本と親しむ機会をもってくれるようになればうれしいです。

この文庫も教養委員さんが快く運んでくれました。いつも本当に助かっています。ありがとうございます。



『運のいい人』とは…



目標や願いを掲げる新年。多くの人が絵馬に書いたり、手を合わせて祈ったりしたのではないでしょうか。「どんな人が願いを叶えるのかな」「運の良し悪しも関係するのかな」そんなことを考えたときに目に留まったのがこの本、中野信子著「科学がつきとめた運のいい人」■

著者は脳科学者、医学博士です。テレビでもときおりお見掛けします。彼女は「運は100%自分次第」と言います。どうやら運がいい人には、共通した考え方や行動パターンがあるようです。運をよくするための振る舞いがあり、運はコントロールできると述べられています。「科学的にアプローチする」と書かれていますが、決して難しくはありません。「運のいい人は、目標や夢を『自分なりのしあわせのものさし』で決める」という表現が心に残りました。

図書館の入口にある書架に立てかけておきますので、ぜひ読んでみてください。

(*左:進路指導室前の絵馬 *右:1年生のフロア掲示→)

